



Weekly Report

創立：1980年(昭和55年)11月10日
 会長：増田 盛英
 幹事：高木 勝
 クラブ委員長：岩崎 道夫
 例会日：毎週木曜日PM12:30～
 会場：ヒルトン名古屋
 事務局：460-0008
 名古屋市中区栄1丁目3-3
 ヒルトン名古屋910号
 TEL：052-211-3803
 FAX：052-211-2623
 MAIL：2760nagoya@mizuho-rc.jp
 URL：http://www.mizuho-rc.jp/

2009～2010年度
 国際ロータリーのテーマ
 ロータリーの未来はあなたの手の中に
 2009～2010年度
 RI会長 ジョン・ケニー

ROTARY CLUB OF NAGOYA MIZUHO

第1438回例会

～家族月間～
 クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2009年12月3日(木) 雨 第21回

司会：市岡正蔵会場委員
 斉唱：「君が代」「奉仕の理想」
 ビジター：名古屋東RC 高橋雄二郎さん

会長挨拶

増田盛英会長

皆さんこんにちは。今月は、家族月間です。来週のクリスマス家族会には、ご家族の皆様にご約20名のご出席のお返事を頂いております。楽しい家族会にしたいと思っております。平野親睦活動委員会の皆さんにはお世話になりますがよろしくお願いを致します。



又、今日は入山プログラム委員長企画の新人会員とベテラン会員の卓話です。遠山さん、梅田さん楽しみにしておりますのでよろしくお願い致します。

さて、本日は日本酒造りの続きの話です。10月1日の日本酒の日と10月15日と2回話しました。その時には精米と米洗いの話をしました。その続きです。

米洗いが済みますと白米を蒸さなければなりません。何故米を炊くのではなく蒸すのかというと、炊いてしまうとご飯でも解るように、全体的に柔らかくなります。蒸米のように、中心部分を柔らかく、外側を硬くすることが出来ません。つまり米の芯を溶かし外側を粕にします。何故かと言うと、米の芯には高質な澱粉があり、米の外側へ行くほど蛋白質・脂肪分があるからです。そして白米を蒸すことにより米をα化します。そして蒸された米は、①麴造り ②酏造り ③本仕込みの蒸米に分けられます。

麴は通常出来上がるまでに約48時間必要です。中には60時間くらいかける杜氏さんもいます。最近では機械で麴を造る蔵元が多いですが、大吟醸などの高級酒は手造りです。大吟醸の麴造りは真夜中に2時間くらいの間隔で起き、色々な作業を行います。米洗いも大変な作業ですが、麴造りも手間が掛かります。

酏造りは、酏の製造方法の種類に「生もと」「山廃もと」「速醸もと」等があります。これを説明しておりますと、専門用語も出てきて時間も掛かりますので、酏造りは、酵母増殖の工程とご理解ください。

本仕込みは、通常3回に分けて仕込み、この時に酏と麴と蒸した米と水をタンクに入れ仕込みます。この水も水質が大事です。水質により夫々の蔵元の出来上がる酒は特徴のあるものになります。何故3回に分けて仕込むのかというと1度に仕込んでしまうと酵母が徐々に増殖させることができないからです。このタンクの中に仕込んだ米を含んだ液体を「もろみ」と言います。「もろみ」は酒の場合は

「醪」、醤油の場合は「諸味」と書きます。このように仕込んだ「もろみ」の中で何が起きているのか。それは、麴で糖化をさせブドウ糖を造り、出来たブドウ糖を酵母が食いアルコールができます。この醱酵法を「平行複醱酵」と言います。これは、日本酒や紹興酒などの醱酵法です。ワインは、元々ブドウそのものに糖があるため麴を作る必要がなく、これを「単醱酵」と言います。アルコール濃度が20%近くも出る醱酵酒は日本酒だけです。仕込みの温度は普通の酒で7度から9度、高級酒は5度で仕込む蔵元もあります。「もろみ」の温度は、最高に上げて15度までです。ですから寒造りをするわけです。総米で50t仕込みをしている大手の蔵元もありますが、通常地方の蔵元は約1.5t～2tが標準です。大吟醸などの高級酒は600～750kgでの小さい仕込みが多いようです。通常仕込んでから20日間くらいで搾ります。

日本酒造りの話は今日で終わりにしたいと思いましたが、原酒が出来上がってから製品になるまでがまだ残っていますので、来年あと1回だけお話をさせていただきます。

幹事報告

高木 勝幹事

- ・本日13時35分からヒルトン名古屋9階「ことぶきの間」において第4回クラブアッセンブリーと第6回理事会を開催致します。
- ・本日18時より料亭「つたも」において第4回クラブ奉仕委員会懇親会を開催致します。
- ・次週12月10日(木)16時30分よりヒルトン名古屋9階「ことぶきの間」において第1回長期ビジョン委員会を開催致します。
- ・同じく次週12月10日(木)18時よりヒルトン名古屋4階「竹園の間」においてクリスマス家族会を開催致します。
- ・会員松波恒彦さんの事務所住所が変更になりました。先週お渡ししたものと差し替えてください。なお、会員名簿用のシールは先週お渡ししたものと同じです。

出席報告

八木沢幹夫出席委員

会員69名 出席51名 (出席計算人数53名)

出席率 85%

11月26日は補填により 85.2%

青少年育成基金寄付ご協力者(11月) 近藤茂弘新世代委員

天野 正明さん	本多 清治さん	岩本 成郎さん
増田 盛英さん	長坂 邦雄さん	長瀬憲八郎さん
西本 哲さん	大島 浩嗣さん	鈴木 淑久さん
高木 勝さん	高須 洋志さん	田中 隆義さん
遠山 堯郎さん	渡辺喜代彦さん	吉木 洋二さん

12月お誕生日おめでとう

大蔵 康雄さん	平野 好道さん	泉 憲一さん
---------	---------	--------

・本日は上期最後の理事会とクラブアッセンブリーです。よろしくお願
いします。又、遠山さん、梅田さん、卓話楽しみにしております。

増田 盛英さん

・また優勝。ベスグロでした。

堀 慎治さん

・先日、銀行のゴルフコンペで高須さんと一緒にしました。余裕を持っ
て100を切られたのでご報告致します。きっとパートナーの大切に
気付かれたと思います。

関谷 俊征さん

・今年も残り少なくなりました。

岩本 成郎さん

・先週、エコポイントについて少しお話をさせていただきました。エコポ
イントの正式名称は「エコポイントの活用によるグリーン家電及び促
進事業」と言われております。

田中 政雄さん

・今日は梅田朋嗣さんと二人の卓話でお世話になります。

遠山 堯郎さん

・結婚して10年以上たったと思います。

梅村 昌孝さん

・今月は結婚月です。48年経ちました。お陰様で二人とも健康です。

松井 善則さん

・12月2日は結婚記念日でした。

鈴木 圓三さん

・12月5日は結婚記念日です。

守谷 巖樹さん

・12月7日は結婚記念日です。12月12日は私の誕生日ですが札幌手
稲RCを訪問してきます。12月18、19日は名フィルの第九で合唱をし
ます。

平野 好道さん

・12月2日は私の誕生日です。

大蔵 康雄さん

・12月2日は妻の誕生日でした。きれいなお花ありがとうございました。
寒くなってきました。風邪に気を付けましょう。

稲葉 徹さん

卓話

(アドバイザー)遠山堯郎さん
(在籍5年未満会員)梅田朋嗣さん

若手会員からのメッセージ

1.瑞穂RCへの入会について

瑞穂ロータリークラブへの入会に際し、ロー
タリーは出席が厳しいとは聞いていましたが、
何とかなるだろうと思入会しました。入会し
てみると、所属委員会に応じて色々な役が回っ
てくることがあり、仕事とのスケジュール調整
も必要となるなど、自由に欠席できないなどの
制約もそれなりにあることがわかりました。これ

れも、会員による運営というロータリークラブの性格上自ら対応す
べきことと理解し、できるだけ責任を果たすよう努力しております。

2.ロータリーの精神とは？

さて、ロータリーの精神とはどういうものかについては、入会後
いくつかの書物を頂いており、時折読んでおりますが、一読しただ
けでは、中々スツとはなじむことができない面があります。その要因
の1つは、ロータリーがキリスト教の国であるアメリカで発祥した
ことから、キリスト教の精神がかなり取り入れられているように思
われることです。ロータリーでは「奉仕」という精神がその思想と行
動の大きな柱となっておりますが、この「奉仕」即ちServiceという言
葉、精神は、クリスチャンではない日本人には、即座にはなじみにく
い概念ではないかと思えます。新約聖書のキリストの言葉に、「与え
よ、されば与えられん」という教えがあり、これがロータリーの「奉
仕の精神」につながっているのではないかと思います。日本人にと
って、「奉仕」という概念は、古来、あまりなじみのある言葉ではな
かったように思います。しかしこの「奉仕」という精神と行為は、自ら
になじみ実践できれば、人格も向上し、社会にも貢献できるので、
望ましいものと思っております。

ロータリーの言葉がなじみにくい要因のもう一つは、ロータリー
の言葉が、英語を翻訳したものだからではないでしょうか。例えば、

ロータリーの綱領にある「奉仕の理想」という言葉は、Ideal of Rotary
を訳したのですが、「奉仕の理念(心)」と訳した方が分かりやす
いのではないのでしょうか。また「綱領」という言葉も「目的」と訳した
方がなじみやすいように思います。また、四つのテストの中の「みんな
に公平か」についても、これは「他人を含め身の回りのすべての人
に対して分け隔てなく接しなさい」という意味にもとれますが「すべ
ての職業上の関係者に対して公正か」とした方がその趣旨に近い
のではないのでしょうか。また、他の3つについても、由来や、このテス
トに「to all concerned」という言葉が使われているということか
ら、職業上の関係者に対してそうあるべきと言っているようにも思
われます。このように、もう少し補足の文言を付加し、趣旨が伝わり
やすい表現にすれば、より分かりやすいと思います。

3.質問

例会では、会場委員会と親睦活動委員会、そしてS.A.A.だけは
タスキを掛けることになっていますが、会員にとっては分かっている
ことであるし、あまりスマートな姿ではないのでこれはやめられな
いのでしょうか。また会場委員会の人は、会長のご挨拶が終わるま
で司会の横で立っていることになっていますが、司会以外は座って
もよいのではないのでしょうか？

最後に、私は「実るほど首(こうべ)を垂れる稲穂かな」という言
葉のように、謙虚で人や世の中の役に立つよう、毎日を過ごすよう
努めたいと思っております。私も早くロータリーの精神に馴染んで、
人格を向上させたいと思っております。

アドバイザーからのメッセージ



まず例会時のタスキについてお話します。私
が入会したときはクラブ数が少なく、なかなか
メイクアップする時間がありませんでした。クラ
ブ数が少ないということで、そのクラブを訪問
したときに誰が何の委員会であったかをわか
るようしていたというのがタスキの原点では
ないかと思えます。今年私は今日を合わせて
16クラブの卓話訪問に行っておりますが全て
のクラブでつけていました。また会場委員が立つべきか座るべきか
ということはクラブアッセンブリーや協議会でお決めになるのが良
いかと思えます。

奉仕の心については「世間に対する恩返し」ととることも1つの考
え方ですが、やはりサービスというように捉えた方がよいのではない
でしょうか。世間を意識すれば奉仕の理想というのはサービスと
なり、我々大人にとっては先輩に対する恩返しと言えるのではない
かと思えます。

新約聖書の「与えよ、されば与えられん」については今年「礼節
(心)」というテーマでライラセミナーを開催しました。世間・親・子
ども・仲間・上司・部下に対する礼節と、色々ありました。仰るとおり
奉仕の理念は非常に難しいことです。RCの手続要覧の文章がやや
こしすぎるというのももったいなく感じます。私も色々勉強させて
いただいておりますが、日本の手続要覧は非常にあやふやに書かれ
ていると感じます。しかし以前に比べればだいぶわかりやすくなり
ましたし、来年できる新しい手続要覧ではさらにわかりやすい言葉
になっていると思います。

例会のご案内

■本日の行事 12月10日(木) クリスマス家族会

場 所：ヒルトン名古屋4階「竹園の間」
時 間：18:00~20:00

■次週の行事 12月17日(木)

第4回クラブフォーラム(年次総会)

■次々週行事 12月24日(木) 上期納会

場 所：ホテルオークラ 光の間 テレビア14階
時 間：18:00~20:00